

年 組 名前:

問1

「おみゆきさん」は、何を祈願する

ぎょうじ
行事ですか。

.....

問2

かけ声の「そこだい、そこだい」には、

どのような意味がありますか。

.....

問3

しんげんづつみ ごうりゅう しんじやめい
信玄堤で合流する神社名を

こた
教えてください。

-
-
-



三社神社にみこしを入れる担ぎ手
|| 甲斐市竜王

県内各地でおみゆきさん

女装氏子ら水防祈る

「おみゆきさん」の愛称で親しまれている「大神幸祭」が15日、県内各地で開かれた。おしろいや口紅を施し、女性に扮した氏子らがみこしを担ぎ、笛吹市を出発。「そこだい、そこだい」のかけ声と独特の足踏みで神社の境内や地域、信玄堤を練り歩き、釜無川の水防を祈願した。

大神幸祭は約1200年前から続く伝統行事。同市の甲斐国一宮浅間神社では、神事後、みこしが神社を出発。化粧をして鮮やかな着物をまとった氏子ら約200人が順番にみこしを担ぎ、「目的地はそこだ」が由来とされる「そこだい、そこだい」のかけ声とともに市内を練り歩いた。道中では子どもが健康に育つことを願い、みこしの下をくぐる家族の姿が見られた。

甲斐市の信玄堤で、笛吹市の甲斐国一宮浅間神社と美和神社、甲府市の玉諸神社から神職らが合流。釜無川左岸の土手約400mをみこしが練り歩き、地面を踏み固めた。甲斐市竜王の三社神社で神事を行い、土手で水防を祈願する川除祭を実施。神職が「水神」の文字を書いた小石を投げると、子どもたちが競って拾い集めた。

〈武田寛明、中嶋寿美子〉

(2026年4月16日付 山梨日日新聞 15面)

問4

かわよけまつり しんしよく な こいし
「川除祭」で神職が投げる小石には、どんな文字が書かれていますか。

.....